

九州関門地方支部 第 15 回就職支援検討委員会①

就職支援検討委員会

6 月 19 日、福岡市博多区のリファレンス駅東ビル貸会議室で、第 15 回就職支援検討委員会を開催し、船員養成教育機関の先生と九州関門地方支部管内が担当する各海運会社の担当者が出席した。

出席者の内訳は、船員養成教育機関 7 校から 10 人、海運会社 30 社から 47 人、九州運輸局海事振興部から 2 人、本組合から 17 人、合計 76 人が出席した。

会議では、はじめに主催者を代表して浅野忠行九州関門地方支部長が「この就職支援検討委員会は、将来の水産・海運業界を担う後継者を円滑に確保・育成できるよう、平成 21 年度に第 1 回を開催し、本日で 15 回目となる。労働者人口の減少が進んでいるなか、海運業界でも人材育成のあり方が変化してきている。官学労使一体となり、船員職業の後継者の確保・育成が進められるよう諸課題の解決に向け意見交換を行い、理解を深めたい」とあいさつした。

続いて本組合本部を代表して、平岡英彦中央執行委員が「就職支援検討委員会は年々参加者が増え、注目を集めている。少子高齢化社会において船員の確保・育成は喫緊の課題であり、本委員会では船員教育を行う上で、最大の課題である教員不足対策などについて、活発な意見交換を行い今後の活動につなげていきたい」とあいさつした。

次に九州運輸局海事振興部から、船員労働需給状況と運輸局の海洋教育および人材確保の取り組みが報告され、本組合が事前に船社と学校からそれぞれとりまとめたアンケート結果を報告した後、意見交換が行われた。

「海員だより」